



# 実践ライブラリー:高等部 国数 「ひとこと日記を書こう」



文章が書きたい。  
自分が言っていることを伝えたい。  
いろいろな話がしたい。



だれが・どこで・何をしたなど短い文で  
良いので質問に答えたり、自分の経験を話した  
りできるようになってほしい。

## ① どこでしょうクイズ！

iPadとzoomのアプリを使って誰がどこにいるかクイズを出しました。教室と教室の外の人に分かれて、iPadを使ってやり取りをしました。「だれ」が「どこ」にいるのかを教室でテレビを見ている人は考えて答えました。

### おすすめポイント

友達の顔がテレビに映るので、注目しやすい！  
映像で問題が出せるので、言葉が無くても出題者になれます。


## ② 分けて考えてみよう。

クイズやゲーム等を利用して「どこ」や「だれ」などを考える練習をしたら、それを行事などの出来事で考えるようにしました。例えば「運動会はどこであった?」「グラウンド」など文章にする前に部分的に考える練習をしました。最初はほとんど答えられませんでした。活動に入る前に十分に写真を見て振り返ったり、記憶が新しいうちに考えるなどして、生徒が考えやすいようにすることで、子どもの反応を引き出すことができました。

## ③ 日記を書いて、みんなに見てもらおう。


伝えたいことを分けて考えられるようになったら、それを繋げて文章を書くようにしました。これを毎週決まった曜日に書くようにしました。内容は、朝ごはんやほしい物、行事のことなど、生徒がイメージしやすい題材にしました。日記が書けたら掲示して、他の人にも見てもらい、色々な話ができて嬉しそうでした。最後に自分と友達の日記を文集にしました。

### 子どもの反応



「ここはどこでしょう！」  
「えー？〇〇かなあ？」  
「もうちょっと映して。」  
「わかった！」

### 子どもの反応



最初は書けなかったけど1人で書けるようになった！  
他の人にも見てもらえてうれしい！